



2022
議会だより

よしか

第63号

**【夏本番!!
有機野菜出荷】**



柿木野菜集出荷場

▶第2回定例会・主な新規事業 2	▶一般質問 9～12
▶全員協議会 3	▶特別委員会の設置 12
▶主な質疑・討論 4～5	▶研修・発議・陳情 13
▶議決結果表・訂正とお詫び 6	▶議場見学・議会傍聴・編集後記 14
▶議会へのご意見 7～8		

第2回 定例会

《令和4年6月9日～16日の8日間》

一般会計補正予算 1億4,207万円
(可決)

補正後予算総額 74億2,656万円
(昨年比 2.4%減)

主な新規事業

地方創生アドバイザーの設置

地方創生に関して戦略的な政策形成を進めるため、専門的かつ実践的な立場から指導助言を行う 108万円

新型コロナ対策臨時特別給付金

住民税非課税世帯や、新型コロナ感染症の影響で家計急変のあった世帯を支援 5,063万円

予防接種費

新型コロナウイルスワクチン第4回目接種経費 1,476万円

小規模事業者等への支援

新型コロナ感染の影響で売上げが減少した、小規模事業者等への支援 3,155万円

全員協議会

令和4年6月3日

六日市病院の支援に関する町長の決意

- ① 経営改善計画に相応する財政支援を行い、存続を図る
- ② 病院と行政とで課題を克服し、持続可能な病院経営を行うアクションプラン等の実行支援
 - *アクションプランとは…経営改善に向けた具体的な内容をスケジュール化した活動計画
- ③ 病院に対して相応の財政支援を行うために、持続可能な町政運営に努める

令和4年7月4日

解体方針から一転！

旧六日市学園（医療技術専門学校）の校舎活用へ

方向転換の理由

- ① 活用を求める住民からの署名提出
- ② 関心を示す企業の出現
- ③ 学校法人側の協力



旧六日市学園

町は、昨年12月～2月まで公募型プロポーザル方式で譲渡先を募ったが、応募がなかった。学校側は解体、更地にする予定だったが、①～③の理由により、方針転換に至った。管理運営は、地域再生推進法人によって行われる。

主な質疑・討論

地方創生アドバイザー

はるゆき
吉長成恭 氏に委嘱

医療・介護・経済などで町づくりに向け、豊富な経験を持つ医学博士・教授で、国土交通省のサポーターを務める、吉長成恭氏にアドバイザーを委嘱することになりました。

町の総合戦略も2期目に入り新しい目線での町づくりが求められています。



吉長成恭 氏

一般社団法人
ちゅうごく PPP・PFI
推進機構代表理事

アドバイザーの仕事の成果が良く分かるように公表すべきである。

松蔭議員

町長

活動内容や成果は、節目節目で報告する。

庭田議員

町づくりの一翼を担って頂くのだから、担当職員の配置や権限の付与等を考慮すべきである。

町長

兼務にはなるが企画課で担当する。権限というより様々な意見や助言を政策に生かしていく。

河村(忠)議員

六日市学園の跡地利用に限ったアドバイザーなのか。

町長

六日市学園に特化したものではない。町づくり全般のアドバイザーである。

マイナンバーカード作成のメリットは

桜下議員

カードを作っても活用できる環境が整っていない。

町も普及に力を入れるべきではないか。

【税務住民課長】

国も普及に力を入れている。取り組みを強化して普及率の向上に努めていく。

障がい者にやさしい施設を

大庭議員

集会所のバリアフリー化をすすめるべきである。

【企画課長】

自治交付金を使って対応して頂きたい。

単独での支援を

河村(隆)議員

国は非課税世帯に臨時交付金制度を設けている。

町単独での制度は考えられないか。

【保健福祉課長】

あくまで国の制度に基づいて給付するので、単独での検討はしていない。

陳情第3号

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出に関する陳情

反対討論

藤升議員

「海の日」は、太平洋戦争への戦意高揚を目的とした「海の記念日」が由来である。現在直面しているウクライナ問題にも関連し、その流れを引き戻すことは避けるべきである。

松蔭議員

現在のハッピーマンデー制度により、「海の日」を含めて3連休になることで、経済の活性化が期待できる。7月20日に固定化する必要はないと思う。

賛成討論

桜下議員



「海の日」を固定化することにより、その意義を理解できるのではないか。また、7月21日から多くの小学校が夏休みに入っており、20日に固定することによって連休にもなる。

議案第38号

請負契約の締結（蔵木小学校改修工事）

反対討論

藤升議員

今回の蔵小改修工事は、分割発注もできる。しかしながら一括発注であり、町内業者は入札参加できない。できるだけ町内業者が参加できるような環境づくりをするべきと考える。

同意案件



◇監査委員の選任が、全員賛成で同意されました。

上田 重夫氏（六日市）再任

任期：令和4年7月1日より、4年間

全員協議会

令和4年6月3日

豚熱について

5月17日 町内で死亡イノシシが見つかる

5月19日 県に持ち帰り、遺伝子検査で豚熱ウイルスの野外株と認められた
県庁内に「島根県家畜伝染病防疫対策本部」が設置される

【今後の対応】

町内に養豚場はないが、イノシシ肉の販売や譲渡の禁止を狩猟クラブに通達。

豚熱は人には感染せず、感染した肉を食べても影響がないとされている。

広報やチラシで町民に周知すると共に、死亡イノシシが発見された場合は速やかに産業課に連絡するよう周知する。

『議決結果表』

【全員賛成で可決した議案】

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

	議案番号	件名
第二回 定例会	承認第1号	専決処分の承認について(吉賀町税条例等の一部改正)
	承認第2号	専決処分の承認について(吉賀町国民健康保険税条例の一部改正)
	議案第36号	請負契約の締結について(横立団地C棟建築工事)
	議案第37号	請負契約の締結について(横立団地D棟建築工事)
	議案第39号	吉賀町立学校設置条例の一部改正
	議案第40号	吉賀町放課後児童クラブ条例の一部改正
	議案第41号	吉賀町社会福祉士等修学資金貸与条例の一部改正
	議案第42号	吉賀町介護保険条例の一部改正
	議案第43号	令和4年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	議案第44号	令和4年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	議案第45号	令和4年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第1号)
	議案第46号	令和4年度吉賀町一般会計補正予算(第1号)
	同意第1号	吉賀町監査委員の選任について
	陳情第1号	町道朝倉真田線及びその枝線、並びに抜月線の整備促進に関する陳情書
議案第47号	動産購入契約の締結について(小型動力ポンプ付軽積載車購入事業)	

【賛成多数で可決した議案】

○:賛成 ●:反対

第二回 定例会	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
	議案第38号	請負契約の締結について(蔵木小学校改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

【賛成少数で否決した議案】

○:賛成 ●:反対

第二回 定例会	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
	発議第3号	消費税率5%への引き下げを求める意見書(案)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●
	陳情第3号	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出に関する陳情	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○

訂正とお詫び

令和4年4月25日発行の議会だより「よしか」第62号で、次のとおり記載内容に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

- P3、 2行目(誤) 米価落対策に対する支援 ⇒(正) 米価下落に対する支援
 P3、 12行目(誤) エアコン購入、設置費の2分の1 ⇒(正) エアコン購入、設置費の3分の2
 P5、1段目、15行目(誤) 10a当たり30000円 ⇒(正) 10a当たり 3000円

議会についてのご意見をお聞かせください

吉賀町議会では、議会活性化のため、具体的な取り組みを進めています。

つきましては、住民の皆様から議会についてのご意見や提言をお寄せいただきたいと思います。

ご住所やお名前を記入された方には、回答させていただきます。

なお、議会・町政に関しないものやひぼう中傷等には回答いたしませんので、ご了承下さい。

のりしろ

のりしろ

のりしろ

のりしろ

切り取り

折ってください

698-8790

吉賀町六日市七五〇

吉賀町役場 議会事務局 行

料金受取人払
益田郵便局承認
355
差出有効期間
2024年12月
31日まで
〔切手不要〕

折ってください

ご意見等ある方は、裏面にご記入の上、外枠にそって切り取り封書にして投函してください。

切り取り

折ってください

次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 (歳代)

件名

Form area with horizontal dashed lines for writing.

折ってください

切り取り

官民連携で共に成長する吉賀町へ



村上 定陽

質問

今年度より、石州会六日市

病院に医療対策課を設け、六日市病院の経営改善に向けた支援をしており、この度石州会経営改善評価委員会の答申をうけ吉賀町として、公設民営化に向かう判断をしたところである。

六日市病院との意思疎通並びに連携はしっかりと出来ているのか。町民の健康を守る医療機関との連携もしており、町民の経済を支える事業所(農林・商工・土木)等との連携を深め、きめ細やかな政策を打つことで維持継続・発展・育成を共に進めていく必要があるのではないかと。

町内事業者等との連携

町長

六日市病院との目標共有

意思疎通・連携については、経営改善計画作成時に設けた会議を4月以降も週1回開催し、計画の進捗状況等の共有、課題の掘出し等細かく行っている。

医療対策課へは病院の職員が来室されるなどコミュニケーションを取り始めている。町民の経済を支える各事業所等に関しては、一部ではあるが事業者を招き吉賀町人材確保定着推進協議会等でヒアリングを行い、企業等育成・継続・振興を図っていききたい。

同疾患の集いを



大庭 澄人

質問

病の中には様々な悩み、

寂しさ、あるいは夢、希望などが生じてくるが、それを誰かに打ち明ける場があったらと思う。

話し合いが出来るような場を町に立ち上げていただき、運営は病院等にご指導を仰ぎさせてもらおう。こういう場が出来れば疾病で苦しんでいる人には、大いに励みになり希望も湧いてくる。既存の会があるようだが、実際の活動などが知りたい。

グループづくりを支援

町長

既存の会として8つの会

があり、断酒新生会、ゆめサロン、BGHクラブ、はじめの会、学ぶ会、希望の会、陽だまりの会、手をつなぐ育成会がある。こうした会があることすらも御存じない方もいる。また、同じ重たい疾患で不安を抱えている人もいると思うので、情報集めをし、支援をする。



歳入について



河村 由美子

質問

昨年のコロナ対策の減免

は、全町で該当事業所が何件あったか。また、町内では昨年より固定資産税が21倍に上がった雑種地があり、説明もなく納付書のみを送付するのは強権的だと思う。

全体として38の納税義務者が対象であった。土地の評価は、土地の位置、現況の変化、利用状況で、場合によっては21倍の固定資産税となる事例もある。

50年後の子どもたちが笑顔で暮らせる社会の創造を目指すことを基本理念として、各種施策を展開するとある。

産業振興と人口増加について、第1次5年間の取り組みの総括と今後の展望を問う。

町の基盤産業である水稲のブランド化を図ると共に、収益性の高い水田園芸への転換も推進し、産地化を図る。人口増加には移住希望者支援、空き家対策を中心とした住宅整備、都市との交流人口の創出に取り組む。

質問

人口減少を克服するため

総合戦略について

正當に評価した

町長

全体として38の納税義務者が対象であった。

土地の評価は、土地の位置、現況の変化、利用状況で、場合によっては21倍の固定資産税となる事例もある。

町長

町の基盤産業である水稲のブランド化を図ると共に、収益性の高い水田園芸への転換も推進し、産地化を図る。

人口増加には移住希望者支援、空き家対策を中心とした住宅整備、都市との交流人口の創出に取り組む。

総合的な農業支援を



庭田 英明

質問 安定した農業経営が継続できる支援が必要である。

生産組合の再構築、指導者の育成などに加え、地域商社的な組織も早急に設立すべきである。

また、アンテナショップの多目的な活用はどのように検討されたか。

みどりの食料戦略事業を活用して

町長 1年でも早くオーガニックフレンドリー宣言をして、様々な支援策を実施していく。

アンテナショップの活用も積極的に取り組んでいく。

風力発電事業の中止を

質問 岩国、周南、吉賀町の広い

範囲に日本で最大の風力発電事業計画が進められている。

自然を破壊し、睡眠障害など、健康に与える影響も大である。

町民の命を守る責務からも、反対の姿勢を示すべきである。負の遺産を未来の子どもたちに残すべきではない。

吉賀町環境保全推進協議会の意見を聞いて

町長 現状での判断は時期尚早

と考えるが、慎重に対応していく。



石州会経営改善で町からの支援は



藤升 正夫

質問 社会医療法人石州会の経営改善計画のうち、評

営改善計画のうち、評価委員会の改善案を加えた場合の町からの支援項目に、運営費補助金、借入金元金返済補助金、施設設備補助金、経営損失等補償補助金がある。

令和4年から8年の5年間で18億9百万円、さらに令和12年までの9年間で34億円の支援を行う計画となっている。

石州会の経営改善計画のうち、令和4年から8年までに、町財政からいくらか出す見通しであったか、病院債の活用と合わせ聞く。

改善案加味し5年で4億円の圧縮

町長 令和4年3月末における

借入金の残高は、7億8千2百万円の見込みである。

石州会の経営改善計画をベースにした、運営費補助金以外の支援は、令和4年から8年までで約10億6千8百万円、評価委員会の改善案を加味すると、5年間で約6億3千万円、約4億円程度の圧縮ができる。

追加支援の中には、施設設備補助金、借入金の返済が含まれている。病院債は、公設民営化になれば発行ができれば。

下水道事業の未整備地区の計画について



中田 元

質問 当町における下水処理は、平成9年より六日市地区公共下水道事業から始まり、初見新田地区・柿木地区集落排水事業、七日市地区公共下水事業を行っている。

しかし、郊外の集落は合併浄化槽による個別処理を行っている。個人設置型合併浄化槽は、地域の事情により排水場所が無く、浄化槽の設置が出来ないケース等がある。

今後、取り組む個人や地域を対象にした排水管路設置に関する助成について普及率の目標や具体的な補助金額等について聞く。

それ相応の負担を

町長 設置困難箇所解消対策も

普及率向上につながる。現在制度設計等の検討中であり、個人を対象にした排水管路設置の助成事業、地域を対象にした町による排水管路設置事業の検討を進めている。

町全体の普及率は71%なので、県の平均83%を目標にしていく。補助率は1%でも高いほうが良いと思われるが財政事情もあるため、設置者にもそれ相応の負担もいただきたい。



夢花マラソン中止決定の経緯について



桜下 善博

質問

3年振りに開催予定だった「夢花マラソン」が、開催10日前に突如中止と決定された。

コロナ感染も落ち着き、医療機関からの了承も得、実行委員会では開催できるという総意に基づいて、準備が進められていた。

大会委員長である教育長の判断で中止と決定されたと聞いているが、判断は正しかったのか。

社会情勢を踏まえ中止は妥当

教育長

大会要項の見直し、県知事のコロナ感染に関する記者会見、中国5県、津和野町、益田市、津和野町、益田市のコロナ発生状況、町民の声、大会後の感

染予想、控えている大型連休等を考慮し、最終決断に至った。

表明の理由

質問

中止の提案を受け入れられなければ、大会長を辞任すると実行委員会

両立は厳しい

教育長

教育と学校教育の両面がある。社会教育では健康増進、スポーツ振興がある。しかし、学校教育で教育現場にコロナ感染が発生すれば教育長として両立は厳しい。そういう意味で、大会長の辞任を申し出た。

高齢者の移動手段に助成を



松蔭 茂

質問

5月に道路法が改正され、高齢者の運転免許更新が難しくなって、

他の交通手段を使うためには、経済的な負担が生じる。助成は考えられないか。

高齢者運転免許自主返納支援事業

町長

町に住所を有する65歳以上の高齢者で、運転免許を自主返納した町民には、年間使用できるバス利用券を交付している。

一方、更新ができなくて免許がなくなつた町民には、今の制度は利用できない。

移動手段として、健康のために自転車を利用し、例として電動アシスト付き自転車の助成のことがあったが、安全性の問題も含めて検討する。



第2期吉賀町総合戦略は



三浦 浩明

質問

第2期吉賀町総合戦略において、「働く場を増やす、魅力的な仕事、稼げる仕事を増やす」とある。構想自体は良いとしても現実的でないと思う。

当町の人口推移、年齢層において、現時点では企業誘致等により働く場や雇用を増やすことは並大抵でないと思われる。

新商品開発により、所得の向上に繋がるとある。しかし、町内産品の生産加工には人材不足など、様々な問題がある。

当町の人口も6千人を割り、少子高齢化による影響も増す中でどのような手法で基本方針を進めていくのか。

全庁挙げ取り組む

町長

アンケートを実施したが、雇用、企業誘致、起業支援、創業支援分野のニーズが高い。

今後の重要施策として、雇用を生むための企業支援を必要と考え、優先的に対策を取る必要がある。

企業誘致に向けた特効薬はなく、施策を着実に推進させることで、目標値の達成に取り組んでいく。



難民の受け入れ支援に対する町の対応は



桑原 三平

質問 ウクライナの避難民を受け入れ、支援する考えはあるか。

受け入れ先として六日市学園校舎を使用したらという提案を聞いている。

ウクライナに限らず、難民を受け入れて支援し、一次産業の農林業をはじめ、技術を習得させ町の将来に繋がるようにしたらとの提案も受けている。

町政においては問題が山積している中、簡単に受け入れることはできないと思うが、支援について考えは、また、難民に限らず外国の方の受け入れについての考えは。



支援について声は届いている

ウクライナ避難民の方の受け入れ等に関して、電話や手紙により支援の声は届いている。

状況が許せば支援をしたい。しかしながら現時点では課題が非常に多く、解決方法等全庁で協議を続けている段階だ。

外国人の位置づけは、労働力を補うという形でなく、多文化共生を実現させるためにも、地域を支える人材として受け入れていくようなスタンスで施策を展開していく。

町民の移動手段について



河村 隆行

質問

吉賀町バスマップの運賃について聞く。

六日市地区、柿木地区で違いがあるが、統一はできないのか。

六日市病院に行くには、六日市地区は300円、柿木地区は乗り継いで1450円かかる地区もある。

町民が受診・利用しやすいような交通アクセスの改善が、病院の支援策にもなるのではないか。

運賃体系は

柿木地区は、距離制運賃になっている。

同一料金は

町内どの地域に住んでい

ても、同一料金が基本ではないのか。

検討を考える

町内で

は、六日市・柿木で2社が、バスを運行している。

六日市は、六日市駅を発着にしているが、柿木は柿木駅を発着にしているため乗り継ぐことになる。

今後、公共交通会議などで検討していければと考えている。



特別委員会の設置

6月3日、社会医療法人石州会経営改善計画の評価委員会報告が全員協議会であり、町長から石州会に対する町の支援方針について説明がありました。

議会も、地域に必要かつ持続可能な医療体制を確保するための調査・研究が不可欠であると判断し、6月定例会で、「地域医療調査特別委員会」を設置しました。委員会では地域医療に関する諸々の事項について、令和4年12月末を期限として、継続的に調査・研究活動を行います。

○地域医療調査特別委員会委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 三浦 浩明 |
| 副委員長 | 村上 定陽 |
| 委員 | 桜下 善博 |
| 委員 | 松蔭 茂 |
| 委員 | 藤升 正夫 |
| 委員 | 庭田 英明 |

タブレット研修

6月16日、議会改革の一環としてタブレットを導入するため、議員と執行部を対象とした研修会が行われました。当日は、東京インタートイ株の講師とリモートで繋ぎ、専用のアプリを使った基本的な操作方法を中心に、約2時間の講習を受けました。タブレットを導入することで、議案や参考資料をデータで確認することができ、大幅なペーパーレスが期待できます。



リモートでの研修

全国正副議長研修会

5月30日、コロナ禍も落ち着き、3年振りに全国町村議会正副議長研修会が東京国際フォーラムで開催されました。町村議会のあべき姿・議員報酬・ハラスメントについて、3名の著名な先生方の講演を聴講しました。

私達議会人として、今直面している問題についての「お話し」で、有意義な研修会となりました。

令和4年度 町村議会議員・副議長研修会



正副議長研修会での講演

発議

（議員が提出した議案）

▼【発議第3号】

消費税5%への引き下げを求める意見書（案）

提出者 藤升 正夫

【理由】 物価高騰から国民の生活と地域経済を守るため。

（賛成少数により否決）

陳情

▼【陳情第1号】

町道朝倉真田線及びその枝線、並びに抜月線の整備促進に関する陳情書

提出者

抜月河内地区自治会長 水元 廣美
抜月大谷地区自治会長 正木 和男

（全員賛成により採択）



町道朝倉真田線現地視察の様子

▼【陳情第3号】

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情

提出者

海事振興連盟会長 衛藤 征士郎

（賛成少数により不採択）

▼【陳情第2号】

女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める陳情

提出者 女性スペースを守る会

共同代表 飯野 香里

ほか3名

（文書配布）

▼【陳情第4号】

沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

提出者 辺野古を止める！

全国基地引き取り緊急連絡会

代表 漆山 ひろみ

（文書配布）

▼【陳情第5号】

中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情

提出者 井田 敏美

（文書配布）

議場見学

ようこそ、六日市小学校の皆さん

6月1日に、小学校3年生16名の皆さんが社会科の授業として、議場見学に来られました。

当日は、安永議長が町議会の仕組みや役割をわかりやすく説明した後、一人ずつ議長席に座り、議場の雰囲気味わってもらいました。

少しでも、議会に興味を持つきっかけになればうれしく思います。



六日市小学校の皆さん

議会傍聴

ようこそ、吉賀高校の皆さん

6月13日と14日に、高校2、3年生の皆さんが、地歴公民科の授業の一環として、議会の傍聴にられました。

両日ともに一般質問が行われ、メモを取りながら熱心に傍聴をされていました。

議会では、今後も引き続き吉賀高校の皆さんと、行政や町の将来について話し合える場などを持ちたいと考えています。



傍聴の様子

編集後記

6月議会的一般質問に、吉賀高校の生徒の皆さんが、2日にかけて傍聴にられました。議会改革を進める上で、小・中・高生をはじめ、若い世代にまず見て、感じていただき、「自分も」と、思ってもらえるものです。

山形県遊佐町では、中高生約600人の投票で選ばれた、町長と10人の議員による遊佐町少年議会が、2年も前から開催されているということです。

町への提言で、まちづくり、防雪設備などが実現しています。また、選挙への関心も高く、若い人の投票率も高いそうです。

我が吉賀町も、町民みんなで明日の吉賀町をつくりましょう。

まず、議会傍聴におこしください。

河村 隆行

